

第 50 回衆議院議員総選挙臨時啓発業務プロポーザル選定委員会
議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和 6 年 10 月 2 日（水）
2	場 所	書面審査
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県選挙管理委員会事務局長（委員長） ・ 広島県選挙管理委員会事務局次長 ・ 広島県地域政策局市町行財政課主事 ・ 広島県地域政策局市町行財政課主事 ・ 広島県総務局広報課長
4	議 題	第 50 回衆議院議員総選挙臨時啓発業務プロポーザルに係る最優秀提案者の選定
5	担当部署	選挙管理委員会事務局
6	開催方法	1 参集（オンライン会議） ② 持ち回り
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を審査し、最優秀提案者を選定した。</p> <p>A：株式会社広島朝日広告社 B：株式会社中国四国博報堂 C：株式会社みづま工房</p> <p>審査結果については、別紙「プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については次のとおり。</p> <p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起用する著名人と、それにマッチしたメッセージが設計されている。また、標語の活用も踏まえた提案がなされている。 ・ 印象には残るが、投票に行かないことを大人から叱ってもらうという考え方が啓発との趣旨にそぐわないと感じた。 ・ 選挙という前向きなものに対し、「選挙に行かない若者を叱ってもらう」というコンセプト・全体的な雰囲気はマッチしていないように感じる。 <p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共感が得られる層が限定される懸念がある。 ・ 早い納品が期待できるが、この動画の内容で「選挙」のイメージは湧きにくい。 ・ 選挙という明るいイメージと、メインビジュアルやバナー等がマッチしており、若い世代が関心を持つことが出来る。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案内容の具体性が相対的に低く感じた。

		<ul style="list-style-type: none">・多くの世代の関心を引き込むことができ、実際に発信するための体制が整っていると思った。・TikTok 広告がオフショットのショート形式であるため、若者が気軽に広告を見ることができ、選挙に関心を持つことが出来る。
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------